

第 2 回アジア科学技術防災会議に出席し、発表・パネルディスカッションに参加しました (2018/4/17-18)

テーマ：UNISDR、仙台防災枠組
場 所：北京

2018年4月17-18日の2日間、UNISDR、中国政府、北京師範大学が主催する「第二回アジア科学技術防災会議」が北京にて開催されました。当研究所から、泉貴子准教授（地域・都市再生研究部門）がテーマ別セッション4：「アジアにおけるレジリエンスのための防災への投資促進」において発表するとともに、パネルディスカッションにパネラーとして参加しました。

この会議の最後には、各セッションからの提案を含む「成果文書」がまとめられ、7月にモンゴルで開催される「アジア閣僚防災会議」において、アカデミア・科学コミュニティからの提案として議論されます。この成果文書には、「仙台防災枠組」の4つの優先行動のそれぞれに、科学技術がどのように貢献できるか、合計で12の行動項目が提案されています。今回の会議で新たに、「ナショナルプラットフォームへの科学コミュニティの参加・貢献」「リスクコミュニケーションの強化」「投資を増加するために、防災効果に関する研究の強化と結果の共有」などの項目が新たに成果文書の中に盛り込まれることになりました。

18日の夕方には、「UNISDR アジア科学技術アカデミア諮問委員会（ASTAAG）」の会合が開かれました。泉准教授は当研究所とAPRU（環太平洋大学協会）を代表して、2015年5月の設立当初からのメンバーとして、この委員会に参加しています。この会合では、ASTAAGのこれまでの活動を振り返るとともに、今後どのような活動を行うか、また仙台防災枠組実現へどのような貢献が可能か、7月のアジア防災閣僚会議にて、どのようなセッションを行うかについて議論を行いました。



STAAG メンバー



パネルディスカッション

文責：泉貴子（地域・都市再生研究部門）